

労働災害発生状況

(令和6年度)

- 1 死亡災害の推移
- 2 死傷災害の推移
- 3 業種別に見た死亡災害の推移
- 4 業種別に見た死傷災害の推移
- 5 業種別に見た事故の型の変遷
- 6 年齢階層別労働災害発生状況の推移

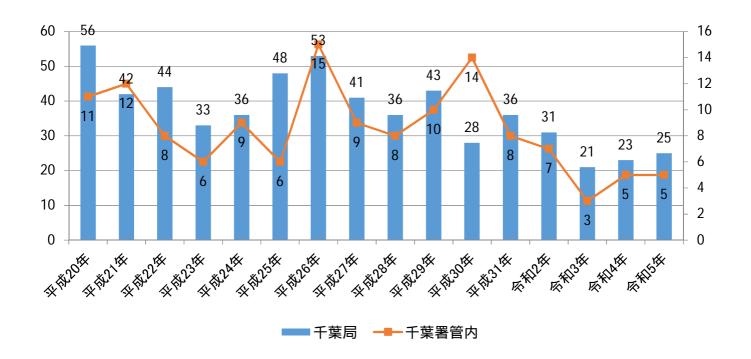
(参考)女性の就業率と健康への対応

千葉労働基準監督署

「小さなヒヤリも 大事な気づき 声に出して災害ゼロ」

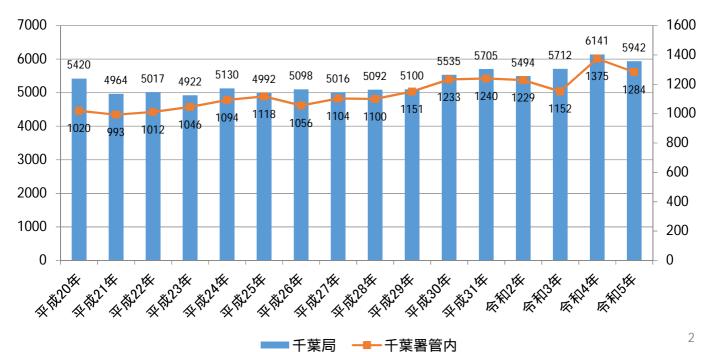
死亡災害の推移(千葉県と千葉署管内の比較グラフ) 1

千葉署管内における死亡災害は、増減しながらも長期的には減少傾向で推移している。 令和5年の死亡災害は、前年と同数の5人となり、直近15年間で2番目に少ない。



死傷災害の推移(千葉県と千葉署管内の比較グラフ) 2

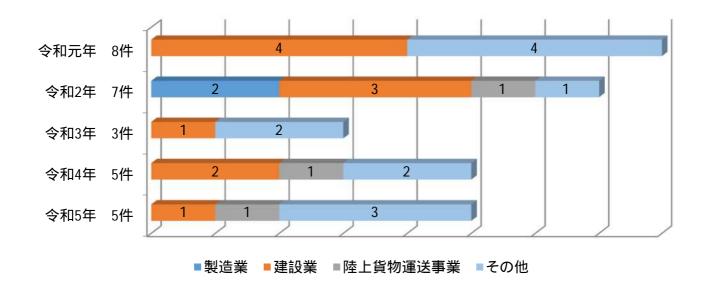
千葉署管内における休業4日以上の死傷災害は、増減を繰り返しつつも増加傾向となっている。 令和5年は前年よりも6.5%減少したものの、直近15年間で2番目に多い。



3 業種別に見た死亡災害の推移(千葉署管内)

令和元年から令和5年までの5年間の業種別死亡災害発生状況

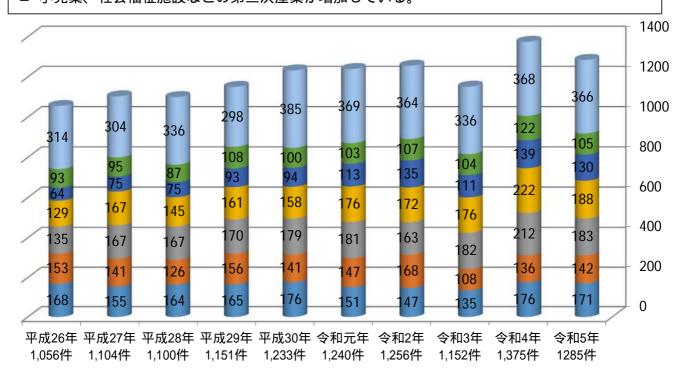
■ 死亡災害は、直近15年間で2番目に少ない。建設業は毎年死亡災害が発生している。



4 業種別に見た死傷災害の推移(千葉署管内)

平成26年から令和5年までの10年間の業種別死傷災害発生状況

- 製造業、建設業は増減を繰り返しつつ、横ばい状態で推移しており、陸上貨物運送業は増加 傾向となっている。
- 小売業、社会福祉施設などの第三次産業が増加している。

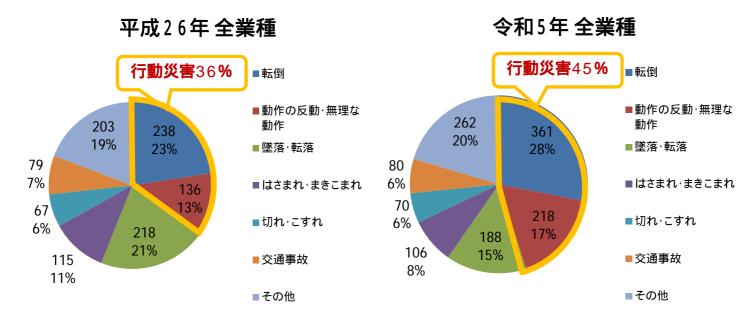


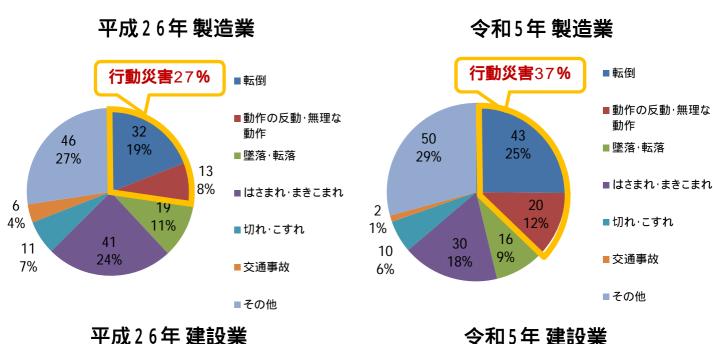
■製造業 ■建設業 ■陸上貨物運送事業 ■小売業 ■社会福祉施設 ■接客娯楽業 ■その他

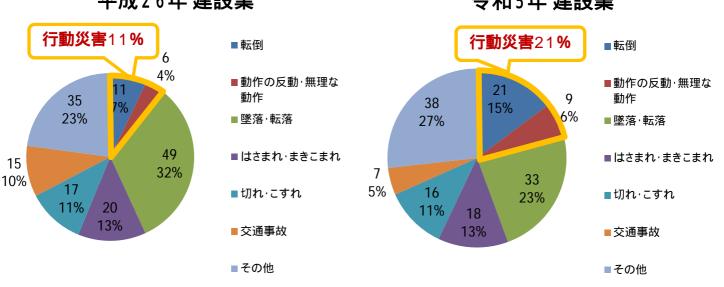
5 業種別に見た事故の型の変遷(千葉署管内)

平成26年と令和5年における業種別事故型別休業4日以上の労働災害発生状況

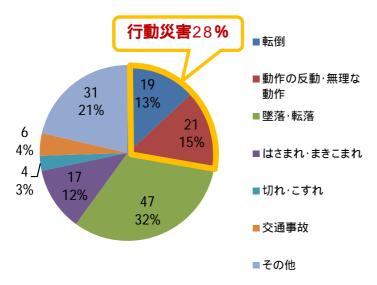
■ 労働者の高齢化等に伴い転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する労働災害が増加している。



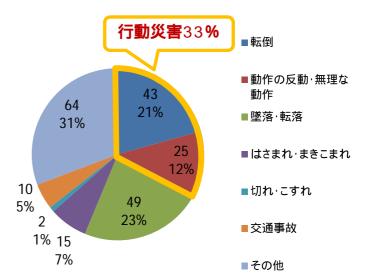




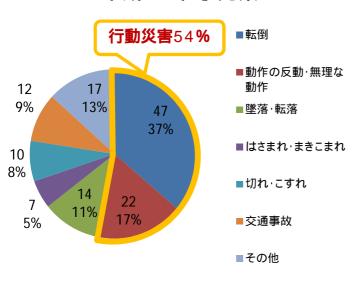
平成26年 陸上貨物運送事業



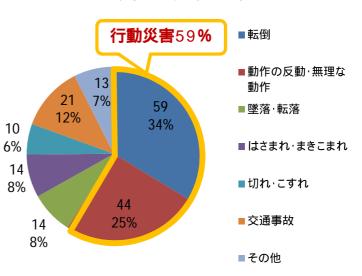
令和5年 陸上貨物運送事業



平成26年小売業



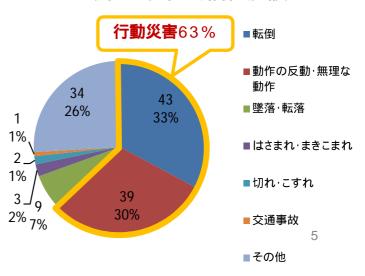
令和5年小売業



平成26年 社会福祉施設

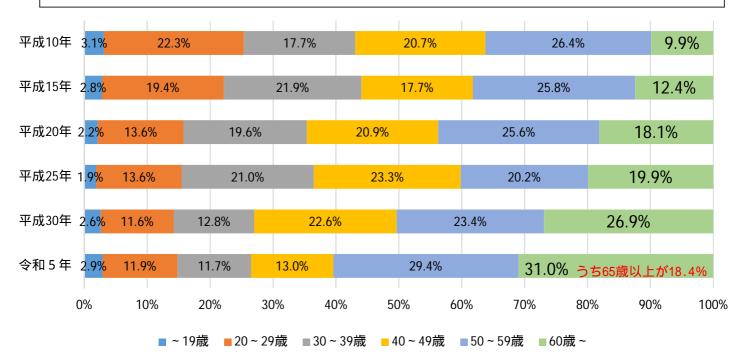
行動災害71% ■転倒 3 ■動作の反動・無理な 10 動作 5% 16% 24 ■墜落·転落 2 37% 3% ■はさまれ・まきこまれ 3 5% ■切れ・こすれ 22 34% ■交通事故 ■その他

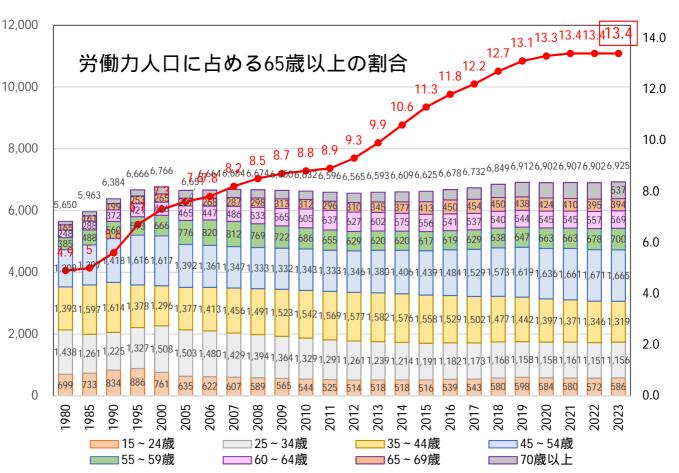
令和5年 社会福祉施設



6 年齢階層別労働災害発生状況の推移(千葉署管内)

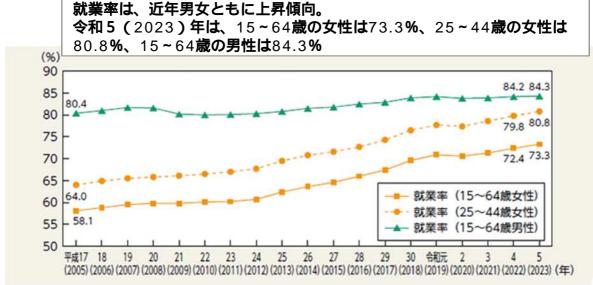
平成10年から令和5年までの5年毎の年齢階層別死傷災害発生状況 20~29歳、30~39歳の割合が減少し、60歳以上の割合が大きく増加している。 令和4年の全国の労働力人口に占める65歳以上の割合が13.4%(下グラフ参照)なのに 対し、令和5年の千葉署管内の死傷災害に占める65歳以上の割合は18.4%と高い比率に なっている。





(参考) 女性の就業率と健康への対応

女性の就業率の推移(内閣府男女共同参画白書 令和6年版抜粋)



(備考)

- 1.総務省「労働力調査(基本集計)より作成。なお、労働力調査では令和4年(2022)1月分結果から算出の 基礎となるベンチマーク人口を令和2(2020)年国勢調査結果を基準とする推計人口に切り替えた。当グ ラフでは令和3年(2021)年以前の数値について新基準切替え以前の既公表値を使用している。
- 2. 平成23(2011)年の就業率は、総務省が補完的に推計した値。



内閣府 男女共同参画白書

働く女性の心とからだの応援サイト抜粋(厚生労働省委託事業)



応援サイト



女性はライフステージによってかかりやすい病気が違い、女性ホルモンの影響を大きく受けることがわかります。 図の横軸は女性の年齢、縦軸は女性ホルモン(エストロゲン)の分泌量を表しています。 その中にライフイベントや罹りやすい病気や症状などを配置した図になります。